

第4期 山形枝豆日本一産地化プロジェクトの概要(令和7年度～9年度)

資料 2

◆山形県のポジション (R5年)

	1位	2位	3位	4位	5位
産出額 (億円)	群馬 54	千葉 48	山形 36	埼玉 36	北海道 31
作付面積 (ha)	山形・新潟 1,410		北海道 1,270	秋田 1,250	群馬 1,030
生産量 (t)	北海道 9,270	群馬 6,970	千葉 5,630	埼玉 5,190	山形 4,370

◆ブランド力強化&生産性向上により産出額55億円の産地を目指す！

- <県産えだまめのブランド力強化>
- ⇒ 先行産地での「食味向上プログラム」の取組みを優良事例として、県内他産地へ波及
 - ⇒ 消費者および実需者に対する「食味向上プログラム」のPR強化
- <良食味えだまめの生産拡大・安定出荷・利用拡大>
- ⇒ 良食味と多収を両立する栽培体系の確立、鮮度保持体系の確立、気候変動に対応した安定生産技術の開発、新規冷凍技術の開発による利用拡大
 - ⇒ 高品質生産・安定出荷に向けた取組み
 - ⇒ 産地規模の維持、効率的生産に向けた経営体当たりの栽培面積拡大の取組み

◆目標

	現状 R1～5	⇒ R6	⇒ R7	⇒ R8	⇒ R9	目標 R10
産出額 (億円)	45	47	49	51	53	55
作付面積 (ha)	1,453	1,440	1,430	1,420	1,410	1,400
単収 (kg/10a)	381	385	388	392	396	400
生産量 (t)	5,533	5,544	5,548	5,566	5,584	5,600
単価 (円/kg)	813	844	876	910	944	980

* 現状値はR1～5のうち中3平均値

これまでの成果・課題

流通・販売面

- <成果>
- 先行産地での「食味向上プログラム」の継続的な実践
 - 新規ブランドの立ち上げ
 - 産地全体で食味への意識向上
- <課題>
- 「食味向上プログラム」の県内他産地への横展開及び認知度向上
 - 情報発信、PRコンテンツ整備



良食味新ブランド「出羽美人」

生産面

- <成果>
- 光センサーを活用した良食味指標を、茶毛・白毛系品種で確立
 - 食味に影響を及ぼす環境要因を解明
 - 実証技術（密植多収栽培、出荷端境期の解消等）の産地への導入
- <課題>
- 所得確保に向けた生産性の向上
 - 効率的生産に向けた経営体当たりの面積拡大
 - 大雨、高温少雨等が作柄に大きく影響、気候変動対策が急務
 - 流通過程の食味低下
 - 規格外品の利用拡大

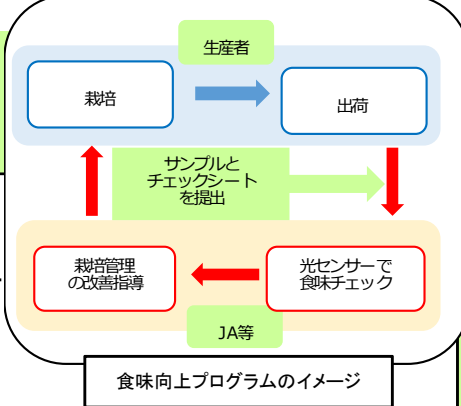


高温少雨の影響で萎れ発生 (R5)

個別の取組みの概要

<県産えだまめのブランド力強化>

- 先行産地での「食味向上プログラム」の取組支援（普及課、JA）
 - 「食味向上プログラム」の県内他産地への波及（園芸大国推進課、普及課、JA、JA全農山形）
 - 「食味向上プログラム」の消費者・実需者へのPR（園芸大国推進課、JA、JA全農山形、市場、普及課）
- ・光センサーによる分析結果を基に、栽培改善指導を実施（チェックシートの活用・「食味向上プログラム」の実践）
 - ・県内他産地生産組織（生産者、JA職員等）を対象とした「食味向上プログラム」研修会の開催
 - ・茶毛・白毛系品種における光センサーを活用した栽培改善指導を実施 ⇒ 「食味向上プログラム」の試行
 - ・実需者（市場関係者等）を対象とした「食味向上プログラム」取組説明会の開催
 - ・消費者への認知度向上を図るため、試食宣伝会等の開催支援
 - ・PR資材（リーフレット、ポップ等）の作成
 - ・ホームページの充実、PR動画等の作成



県産えだまめPRリーフレット



「食味向上PG」取組説明会での試食の様子 (R6)

<良食味えだまめの生産拡大・安定出荷・利用拡大>

- 【実証圃等】多収・高品質生産・安定出荷に向けた取組み（普及課、JA、生産者、農業技術環境課、園芸大国推進課）
 - 【試験研究】良食味と多収を両立する栽培体系確立（置賜産地研究室・庄内産地研究室）
 - 【試験研究】収穫後管理における鮮度保持体系確立（園芸農業研究所）
 - 【試験研究】温暖化に対応した気候変動対策技術開発（置賜産地研究室）
 - 【試験研究】生莢の新規冷凍技術開発（食品加工開発部）・青臭みを軽減する冷凍前処理および冷凍方法等の検討
- ・高品質・安定出荷（播種時期、施肥方法等）の実証
 - ・気候変動に対応した管理技術（採種技術、灌水効果等）の実証
 - ・良食味生産と収量向上に向けた栽培マニュアルの作成
 - ・経営体当たりの栽培面積拡大に向けた対応（収穫機、選果機等の導入）
 - ・良食味と多収を両立できる栽培方法（栽植密度、施肥方法等）の検討（茶毛系・白毛系品種）
 - ・主力品種の収穫後の食味低下特性の把握
 - ・鮮度保持管理が食味に及ぼす影響を検討
 - ・高温少雨を想定した灌水効果の検討
 - ・湿害や排水対策技術の検討



高温少雨時の畝間灌水の実施(置賜地域)



氷水浸漬による鮮度保持対策